

事業名	水産試験場種苗開発費		担当課	部局	農政部
				課・室	園芸畜産課
総合5か年計画	プロジェクト		E-mail	enchiku@pref.nagano.lg.jp	
	施策の総合的展開	1-3 夢に挑戦する農業 2 自信と誇りを持てる信州農畜産物の生産		実施期間	S56 ~
人口定着・確かな暮らし実現総合戦略	信州創生の基本方針	3-3 活力と循環の信州経済の創出			
	施策展開	3-(1) 経済構造の転換 ア 県内産業の競争力強化 ウ 農業の競争力強化			

1 事業の概要

目指す姿	長野県の水産業を持続的に発展させるために、本県の特産魚である信州サーモンやシナノユキマスなどの優良な養殖用種苗のほか、冷水病等病気がないアユ種苗を安定的に供給する。
現状 (予算編成時)	○平成16年に種苗供給を開始した信州サーモンは順調に生産量が拡大している (H26食用魚出荷量:330トン) ○平成26年から信州大王イワナの種苗供給を開始している。

県が関与する理由	<p>県でなければ実施不可(その他) 【左記の説明、根拠法令等】</p> <p>バイテク種苗は散逸防止など厳格な施設での生産が必要で、民間に業務を移行できない。その他種苗についても技術的に県の施設での生産が必要である。</p> <p>県民との協働による実施：実施は困難</p>
----------	--

成果目標・事業内容	① 成果目標 (H28)					
	水産資源の増大及び養殖魚の品質向上、特産魚普及のため、民間で技術的に生産が困難な魚種(品種)の種苗供給を安定的に行うことにより水産業振興に資する。 ・養殖業者からの種苗供給要望(卵140万粒、稚魚215.5万尾)に対する充足率 100%					
	② 事業内容 (単位:千円)					
	項目	実施方法	H28事業実績	H28		H29
				(当初)	(決算)	(当初)
ニジマス種苗供給	直接	・ニジマスバイテク種苗の供給 全雌・三倍体卵174万粒、不用魚400kg	2,909	2,896	2,909	
在来マス・信州サーモン種苗供給	直接	・信州サーモン種苗等の供給 信州サーモン稚魚36万尾 イワナ普通卵13万粒、信州大王イワナ稚魚4万尾	6,816	6,785	7,291	
アユ種苗供給	直接	・河川放流用アユ種苗の供給 稚魚34.7万尾、大型稚魚20万尾	10,370	10,322	10,351	
シナノユキマス・フナ等種苗供給	直接	・シナノユキマス種苗の供給 ふ化仔魚77.4万尾、稚魚11.2万尾、不用魚2656kg ・コイ科魚類種苗の供給 ウグイ稚魚18.9万尾、ウグイ大型稚魚86kg フナ親魚0.9トン	3,352	3,336	3,371	
合計			23,447	23,339	23,922	

事業コスト	区分(単位:千円)	27年度	28年度	29年度	成果目標の達成状況						
	前年度繰越				項目	H26末	H27末	H28		H29 目標	
	当初予算	21,179	23,447	23,922				目標	成果		達成状況
	補正予算				種苗供給充足率	100%	100%	100%	126%	達成	-
	合計(A)	21,179	23,447	23,922	信州ブランド魚生産量	-	345t	-	376.4t	-	377t
	一般財源										
	県債										
	国庫支出金										
	その他	21,179	23,447	23,922							
	決算額(B)	20,758	23,339								
概算人件費											
職員数(人)	7.20	7.20	7.20								
概算人件費(C)	59,587	56,981	56,981								
概算事業費(B+A+C)	80,345	80,320	80,903								

目標に対する成果の状況	養殖業者や河川湖沼漁業協同組合の要望する信州サーモン等の優良種苗を供給し、成果目標を達成した。
-------------	---

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施 今後も県の水産業を持続的に発展させるため、養殖業者や河川湖沼漁業協同組合の要望に応えながら、信州サーモンや信州大王イワナ、シナノユキマスなどの優良養殖用種苗及び病気がないアユ種苗の安定供給を図る。
--------------------	---